

『公園での「まつり」と周辺の「やすらぎ」空間の創出』が ふるさと 手づくり郷土賞(一般部門)を受賞



【開発建設部】

屋部支所管内地域振興会(名護市)の『公園での「まつり」と周辺の「やすらぎ」空間の創出』が平成29年度の「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞しましたので、活動概要などを紹介します。

公園での「まつり」と周辺の「やすらぎ」空間の創出

「屋部支所管内地域振興会」は名護市の屋部川と西屋部川が合流する下流付近をフィールドとして地域の清掃・イベントなどを開催している団体で、本地域の急激な人口の増加による住民同士のコミュニティ不足の解決や地域を流れる河川環境の保全を目的に、平成11年に設立されました。平成23年からはイベントを通じて地域住民の交流を目的に「屋部川七色にじまつり」を開催し、約2,000人が参加する地域交流の場となっています。

当会では、祭りの主会場となっている屋部親水公園(呼称:屋部川にじ公園)の整備にあたって、地域ならではの英知を集結した整備計画の策定を行政と協働して行ない、整備後は公園の清掃や植樹などの維持・管理を行なっています。

また、イベント時のカヌー体験や干潟の生物観察は、河川環境を考えるきっかけづくりとなり、地域の自然環境に対する意識の向上に取り組んでいます。

選定委員会では、「公園を地域が管理することで、魅力的な空間を生み出し、コミュニティの再生活動、観

光資源づくりに寄与している」、「新旧住民のコミュニティを再生する目的を達成し、それを行政が河川デザインに活かし、住民が管理に関与する仕組みづくりをしている」ことなどが評価されました。



市民の清掃活動



屋部支所管内地域振興会が計画策定段階より参画し、整備された屋部親水公園(呼称:屋部川にじ公園)



カヌー体験と七色放水

手づくり郷土賞とは

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、今年度で32回目となる国土交通大臣表彰です。社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的としています。

詳しくは左記のURLを御覧ください。

(http://www.dc.ogb.go.jp/kaiken/34/kaiken_chiki_kyodoshou.html)

開発建設部建設行政課

☎098-866-11908